

タイトル「**2018年度 経済学部シラバス**」、フォルダ「**2018年度 経済学部シラバス**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目名	マクロ経済学Ⅱ		
担当教員	荒井 信幸		
対象学年		クラス	E1
講義室		開講学期	後期
曜日・時限	水2	単位区分	
授業形態	講義	単位数	2
準備事項			
備考	標準履修年次 2・3年次		
科目名(英語表記)	Macroeconomics Ⅱ		
授業の概要・ねらい	経済成長論を中心にマクロ経済学の発展的な体系を学びます。授業はできるだけ教科書に沿って進めていきます。		
授業計画	回	内容	
	1	イントロダクション	
	2	マクロ経済学の計測	
	3	経済成長の概観	
	4	生産のモデル(1)	
	5	生産のモデル(2)	
	6	ソロー・モデル(1)	
	7	ソロー・モデル(2)	
	8	理解度の確認(中間試験)	
	9	アイデアと経済成長(1)	
	10	アイデアの経済成長(2)	
	11	労働市場・賃金および失業	
	12	インフレーションの長期分析	
	13	政府とマクロ経済	
	14	国際貿易	
	15	為替レートと国際金融	
到達目標	長期的な観点から、経済成長の決定要因を理論的・実証的に理解するとともに、労働、インフレ、政府、国際貿易、為替、国際金融の基本的なメカニズムを理解できるようになる。		
成績評価の方法	中間試験(40%)・期末試験(60%)。試験は持ち込み不可。		
教科書	チャールズ I. ジョーンズ(2011)『マクロ経済学(第Ⅰ巻)』(東洋経済新報社)		
参考書・参考文献	チャールズ I. ジョーンズ(2011)『マクロ経済学(第Ⅱ巻)』(東洋経済新報社)		
履修上の注意・メッセージ	第1回目の授業で詳しいシラバスを配布し、授業の進め方について非常に重要な説明をしますので、必ず出席して下さい。		
履修する上で必要な事項	マクロ経済学Ⅰを受講済であること。2・3年生での受講を強く推奨します。		
受講を推奨する関連科目	現代日本経済論も受講することで、現実の経済についての理解が深まります。		
授業時間外学修についての指示	第1回目の授業中に配布するシラバスで、教科書や参考文献の関連部分を指定します。教科書は必ず入手し、講義に先立って指定された部分を、必ず予習してください。毎回の練習問題を必ず解いてきて下さい。		
その他連絡事項			
科目ナンバリング			